

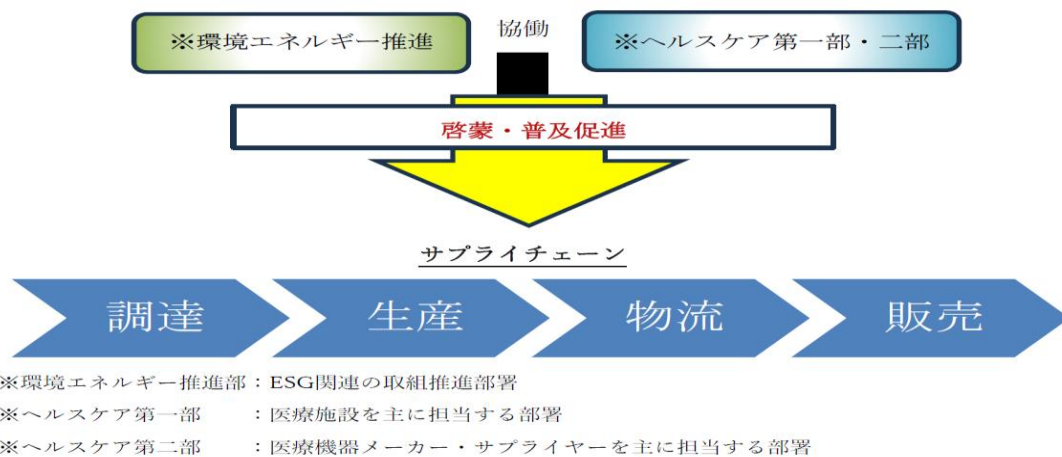
医療分野における脱炭素機器の面的な導入促進

三井住友ファイナンス&リース株式会社

1. 取組の概要

2024 年度も継続して ESG 関連の取組推進部署である環境エネルギー推進部、医療機関を主に担当するヘルスケア第一部、医療機器メーカー・サプライヤーを主に担当するヘルスケア第二部が協働し、医療機器分野のバリューチェーンに対して面的に ESG リース取引の啓蒙・普及促進を図っています。

【取組内容】



2. 取組の目的

近年は脱炭素, SDGs をキーワードとするニーズが増している中で、なかなか進んでいないヘルスケア業界の脱炭素化にも着目、医療画像装置が本事業の対象となったことでリース利用によるメリットのある設備導入、かつ脱炭素にも貢献できるという点をアピールすることで、同業界の脱炭素促進と意識の醸成を積極推進したいと考えます。

3. 取組のポイント

低炭素機器という概念に乏しかった医療機器にも低炭素に寄与するものがあるという気づきを各医療機器メーカー、販売会社含む医療業界に浸透できたことで、脱炭素対策の遅れていた同業界の環境対策に一石を投じることができました。また、新たに対象に加わったリファーマビッシュ MRI についても、サーキュラーエコノミーの観点から業界の関心は高く、これからより一層のニーズ創出が期待できると考えます。

4. 今後の展望

各医療機器メーカー、販売会社含む医療業界全体のバリューチェーンにおける脱炭素機器のマーケット創出・機器の導入は徐々に定着してきております。
引き続き本事業の理解と活用促進を図ることで、医療業界全体の脱炭素化が大きく前進するものと期待できます。